

津山ふぁみ・さぽーと通信

No.68 2021/10月

10月前半、異例の30度近い気温が日中続きましたが、後半に入りさすがに朝の冷え込みが始まると、秋の気配を感じ、そして一気に秋は深まっています。

8月中旬から9月末まで約1ヶ月半続いた緊急事態制限が解除され、気分的に少し開放感をもたれた人もおられることでしょう。それでも油断せず対策を取りながら、この秋の自然を楽しみたいですね。

さて、ファミ・サポの開設から20年以上が経ち、これまで多くの助け合いが行われてきました。今回のミニ通信の会員のページでは、過去にサポートを依頼された方々の体験をお尋ねしています。

私たちも時々会員さんのことを懐かしみながら、いつも話題となることは、この活動が、依頼会員さんがファミ・サポの制度や提供会員さんを信頼して子どもさんを預け、提供会員さんがその信頼に応えサポートしてくださる、そんな皆さんの信頼関係が基となっているということです。

心から感謝しお礼申し上げます。今後もよろしくお願ひします。

◆..... 講 習 会 報 告◆

令和3年10月13日 子育てサポート講習会「保育の心」「子どもの遊び」

「想い 思われ so happy な関係」～子どもが育つ環境～

講師：塚本 さつき さん（元津山市立幼稚園園長
支え合い育ち合い根っとうわーくあんあん事務局長）



先生のお話は次のようなことでした。

子どもが育つ環境が変化している中、親や周りの大人が子どもの発達や育ちを理解した上で「私も大切、あなたも大切」という「いい塩梅な関係」を作ることが大切で、そのために普段からできることとして、「子どもの話を信じて聴く」「待つ、わかろうとする」「肯定的に見る、聴く、伝える」「子どもの感情を認める」「発達に合わせた関わりをする」「大人がロールモデルになる」などをあげられました。

さらに、子育て支援では、「子どもを真ん中」にして、親の愛情とは質の違う、ありのままの良さを認め受け止めてくれる多くの人と出会い、自分を想ってくれる人がいるという安心で良好な関係を築くことが大切とのことでした。

またお話の合間には、ハンカチやツバキの葉など身近なものを使って、わずかな間にでも子どもと遊べる簡単な遊びも教えていただきました。有意義かつ楽しい講座となりました。

感想

- ・2才と1才の孫を思い浮かべながら、対応への反省をしたり、それで良かったのだと自信を持ったりと良い時間となりました。サポートでも孫の世話でも今日のお話をしっかり実践していきたいと思いました。
- ・子どもの理解、2歳児のイヤイヤ期、想像力、信じる、待つ、わかろうとするなど、1つ1つがヒントになりました。ありがとうございました。

so happy な関係（お互いに
想い合い安心な関係）を普
段から作りましょう



思いつくものを折
ってみてください



折った後の折り紙も
このように別の遊び
に活用できますよ





あの時の会員さんは、今・・・ ～ 思い出のサポート紹介～

元依頼会員のお二人にサポート
当時の思い出や現在の様子などを
うかがってみました。



Tちゃんのお母さん

どんなサポート？



サポートをお願いする日は、夕方保育園へ迎えに行ってもらい、提供会員さんのお家で夕食を食べさせてもらったり、遊んでもらったりして、8時くらいまで預かって頂きました。その後、家まで送ってもらっていました。



現在は？



何組かの提供会員さんに、1才から年中の頃までお願いしていたと思いますが、あれから7年が経とうとしています。この春、中学生になりました。

本人はなんとなく覚えているようで、その方のお家のお兄ちゃん二人やお友達と一緒に遊んだり、ばあばんがカタツムリをとってくれたり、同じくらいの年の女の子と遊んだりと、たくさん思い出があるようです。

どちらのご家庭でも家族の一員のように一緒に過ごさせて頂いていたように思います。



メッセージは？

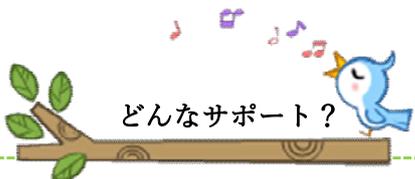


私は家業の仕事でとても忙しかったので、土曜日・日曜日や祝日などもよくお願いしていました。また、子どもの体調が悪い時や熱がある時も「そんなに高いお熱じゃなかったらいいよ。」と言ってくださるので無理をお願いすることも多々ありました。あの時、皆さんが助けてくださったから子育ても仕事も乗り越えてこられたのだと思います。今でもスーパーなどで皆さんにお会いするとついつい話が弾んでしまいます。ほんとうにファミ・サポさんには感謝しています。お世話になりました。そしてありがとうございました。





S.K さん



どんなサポート？

2004年に関西から引っ越してきて、2005年から2008年までの間、合わせて5人の提供会員の方に大変お世話になりました。

2人目を妊娠出産した頃は、夫は仕事で毎日帰りが遅かったため、長男の預かり保育のお迎えから夕飯、時にはお風呂もお願いすることもありました。

そして、3人目の妊娠中に入院した時には、長男の幼稚園と二男の保育園にそれぞれ送迎をお願いして夕飯、お風呂、歯磨きまで済ませてもらった後21時頃病室に連れてきてもらいました。提供会員の方に助けていただきながら子どもたちも病院に寝泊まりして2週間を過ごしました。

さらに、3人目の長女が7ヶ月の時、夫が海外に赴任しました。私たちもそちらへ行くまでの4ヶ月の間には、娘が夜中に高熱をだした際に上の子たちの世話や小学校の行事の時に下の二人の世話などをお願いしました。

大変お世話になりました。ありがとうございました。



現在は？



当時6才だった長男は、今関西の大学に通っていて一人暮らしをしており、身の回りのことを自分で頑張っています。二男は高校生、長女は中学生になりました。

私も、短時間ですが、小学生のお子さんたちに携わるお仕事をさせていただいています。

みんな元気に過ごしています。ありがとうございます。



メッセージは？



2013年に海外から再び津山に帰ってきたのですが、お世話になった方々は、今どうされていらっしゃるのかなと思い懐かしんでいます。

提供会員さんの中に、私たちが転居する地域に以前7年間お住まいの経験がある方がおられ、当時わざわざ現地に赴き、親しい方を紹介してくださいました。また、子どもの学校や病院など生活に必要な所を案内してくださいました。

実は、紹介されて現地で大変お世話になった方は、私の叔母の大親友だったということを知りました。青い空のように、世界中が人の真心でつながっていると感じられました。

そのほかにも私の妊娠出産時に、子どもの同級生のお母さん方にもご好意で私たち家族を助けていただきました。本当に私一人では切り抜けることができませんでした。周りのたくさんの方々にお世話になり本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

コロナ禍ですが、皆さんがお元気でいてくださることを心より願っています。



表紙の講習会報告をご覧ください。

⑦ 先日の子育て講習会で塚本さつきさんがおっしゃった **so happy な関係作り** をしておくことが大切なのね。ファミ・サポもその関係作りに一翼を担うことができたらうれしいわね。

⑥ 中には、さまざまな事情で家族の手が借りられない依頼会員さんもいて提供会員さんがご家族の代わりに手助けしてくださり切り抜けたという人もあるわね。

⑤ 女性にとって、出産という体に変な負担と心理的な不安定さがある中での子育ては、家族や周囲の人の理解と支えがなければ、安定した穏やかな子育ては難しいわ。

④ 登録はしたものの何とかなったという人もいたけれど、第2子を出産した人で、上の子の保育園への送迎を頼んだ人もいたわ。

③ コロナ対策のため緊急事態宣言が発令されるなど妊娠中の人にとって不安は大きかったでしょうね。

② コロナ禍で、初産でも里帰りできずに津山で出産するという人もあったわよ。

① 最近、初めての出産のために入会したり、会員さんで第2子出産後のサポート依頼があったりしたわね。

ふあみばなし

お知らせ

子育てサポート講習会
「心の発達と保育者の関わり」(仮)
～支援の必要な子どもの預かりについて～

日時：令和4年1月21日(金)
10:30～12:00

講師：秋元 芳世子さん
(誕生寺支援学校特別支援コーディネーター)

子どもの発達段階ごとの保育者の関わり方や支援の必要な子どもとの関わりに方について学びます。

◎ 延期・中止になる場合もあります

子育てサポート講習会
「子どもの世話」「安全・事故」

日時：令和4年2月20日(日)
10:30～12:30

講師：津山市健康増進課保健師
津山圏域消防組合職員

事故予防・救急法の講座は毎年開催しています。
提供・両方会員の皆さんは5年に1回は必ず受けてください。

お問合せ 津山ファミリー・サポート・センター TEL：0868-31-8753
〒708-8520 津山市新魚町17番地 アルネ・津山5階「さん・さん」内
<開館時間> 月・水～金 10:00～19:00 土・日 10:00～18:00
<休館日> 毎週火曜日・祝日・年末年始

会員数 1,024人(依頼会員：512人 提供会員：473人 両方会員：39人) 令和3年9月末現在